

奔西走



この申し入れに、市担当者は「緊急対策を計画している」と回答、工事が始

つよしの



浦安側の道路を広げます(市資料より)

千両街道の危険箇所が改善へ

岡山市南区の広域農道「千両街道」の笹ヶ瀬川に架かる笹ヶ瀬新橋北側(浦安側)の路肩拡幅の工事が始まりました。

これは、自転車で下校中の女子高校生が転倒、トラックと接触して重傷を負った一月二十一日の事故を受けて岡山市が行う緊急対策です。

事故現場周辺の約15メートルの区間で、幅1メートル程度の路肩を2.3メ

安全対策で行動

日本共産党

東つよし市議は事故直後、同高校の保護者から安全対策を急いでほしいとの声を聞き、二月一日に森脇ひさき県議、地元共産党支部長と共に、同高校を訪問して懇談、その足で南区役所に対策を申し入れました。



拡幅工事平面図(市資料より)



道路のひびは拡幅時に直します

まりました。

保護者からは「緊急対策だけでなく、橋と並行する自転車・歩行者用道路を設置してほしい」との強い要望があり、署名運動の動きが出ています。

トル程度に拡幅します。側道がある笹ヶ瀬新橋南側(藤田側、写真左)には今後、擁壁を作って拡幅することを検討します。自転車で行く人が多い浦安総合公園につながる道路には、未舗装の部分があります。ここを舗装するなどの対策も検討中です。



拡幅を検討中の藤田側

笹ヶ瀬新橋は歩道幅が1.5メートルしかなく、道路はひびや段差があります。日本共産党南区委員会は、数年前から区役所に改善を求めてきました。住民のみならず、安全確保の運動をさらに広げます。